



マンスリータイムズ(令和6年度)

みはま

12月号①

「働く」ってどんなこと?～高等部1年生 職場見学～

二学部高等部1年生では、進路学習の一環として職場見学を行っています。今年度は、11月14日(木)に印南町の「日の出堂」(菓子製造・販売)と御坊市の「ホロン精工」(ゴム製品製造)を見学しました。

日の出堂では和菓子「かえるまんじゅう」の製造の様子を見学し、菓子作りの体験もさせていただきました。上手にあんを包む生徒もあり、貴重な経験ができました。菓子職人の技術に感心し、経営の大変さなどのお話を伺い、生徒も真剣に聞いていました。

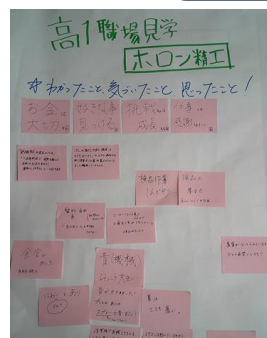
ホロン精工ではゴム製品の製造過程を見学しました。音や温度などの職場環境の大変さや検品作業の細やかさなどを実感できました。生徒は労働時間や身だしなみ、苦勞することなどを積極的に質問していました。

振り返りでは、働く方の様々な考え方や思い、また生徒がそれぞれ感じたことや質問したことなどを確認し、皆で共有することができました。

今後高等部2年生になると、職場体験実習で実際に仕事を体験する予定です。
今回の見学が生徒の皆さんの今後につながることをできればと思っています。

【ホロン精工ふりかえり】
「夏はすごく暑い」
「検品の集中力がすごい」

【日の出堂ふりかえり】
「職人の技がすごい」
「飲食業は朝が早い」



学校運営協議会コーナー

今回は大藤委員を紹介します。



委員さんはこんな人!その⑧
今回は大藤 祥子 (おおとう しょうこ)
委員を紹介します

和歌山病院療育指導室の大藤祥子(おおとうしょうこ)と申します。
療育指導室では重症心身障害児(者)病棟にて、みはま支援学校の生徒さんを含めた患者様の
日中活動支援や行事、昼間の生活支援を行っています。
生徒の皆さんが元気に充実した学校生活を送ることができるよう応援しています。
よろしくお願いいたします。

Q:和歌山病院からみた「みはま支援学校」のいいところを教えてください。

生徒の皆さんそれぞれが自分の持てる力を発揮すると共に、お互いに同じ学校に所属している仲間のことを思いやる心を持っておられること。そして励まし合って頑張り、学校生活を一緒に楽しむことができることです。

Q:みはま支援学校に期待することを教えてください。

重症心身障害児の方にとって学齢期は、毎日、先生方との密なかかわりがあり、充実した日々を過ごすことができる貴重な時期なので、学齢期が一生涯の宝となるよう、これからもますます教育に創意工夫をしていただければ幸いです。

Q:みはま支援学校の卒業生様子を教えてください。

卒業後もみはま支援学校で学んだことを活かし、自分の力を発揮して、日中活動や行事に参加して楽しく過ごしたり、リハビリをがんばったりしています。

Q:好きな井は何ですか?

うな井

